

「防府市防災士等連絡協議会」の活動を見学しました。

山口県防府市の防府市地域協働支援センター（ルルサス防府）で開催された“防災キャンプ 2024 合同報告会 -子どもたちによる防災体験-”を、2024年12月14日（土）に見学しました。



この度の合同報告会は、防府市内5地域（佐波、新田、西浦、松崎、華浦）で6月から9月にかけて開催された子どもたちが主体的に運営する防災キャンプについて実施報告されるもので、子どもから大人まで総勢約60名参加の下、開催されました。

当防災キャンプが開催されるようになったのは、昨年9月に当団体主催の防災イベントにおいて、「女性がチカラを発揮するこれからの地域防災」をテーマに、地域円卓会議をされたことに、端を発しているそうです。その会議には、子ども、地域、女性団体、企業の視点から約100名の市民の皆さまが参加し地域防災の課題や解決策が話し合われ、子どもたちから、「親がいないときの防災対策はどうすればいいの？」「子ども防災士は作れないの？」と言った、自分事化した意見が出たそうです。その意見を基に、子ども達が地域と共に災害を理解し、防災活動に取り組むことで災害への備えの重要性を知ってもらいたい、そのためには、子どもを主体とした防災キャンプを実施しようと考えられたそうです。宮本会長から、「これまでは、『災害から子どもたちを守る』の考えのもと取り組まれていた防災活動から一歩踏み出し、『子どもが守る側になる』取り組みへと発展していった」とのお話を伺いました。更に、防府市には、15校区あり、年5校区、3か年計画ですべての校区に広げていく計画とのことでした。

子どもたちによる発表は、資料も自分たちで作成したそうで、達成感のある表情で堂々と発表している姿が印象的でした。

今年度取り組まれた5校区では、それぞれ小学生や中学生がリーダーとなり、地域の大人も巻き込みながら、どのようなプログラムにするか、みんなて話し合いをして決めたそうです。また、活動日も、地域の人たちが参加しやすいように、他のイベントとの合同や子ども会行事として開催されるなどの工夫もされていました。

実施後には、防災キャンプのまとめ(振り返り)もされており、次回に繋がる良い取り組みだと感じました。

*****プログラム例*****

水消火器体験、段ボールベッドや簡易トイレ組み立て・座り心地や寝心地の体験、新聞スリッパづくり、防災クイズ、非常食試食、野外炊飯、地震やつなみに関するVTRの視聴、ハザードマップづくり、地震体験 など

<発表した子どもたちの声>

- ・自分たちの命を守るために、いろいろ学ぶことができて良かった。災害に備えて正しい行動ができるようにしたいと思った。
- ・高齢者や妊婦の方のことも考えて取り組んでいきたい。
- ・車いすの体験をして大変さを知った。声掛けをしてできることを手伝っていきたい。
- ・有事には、地域の混乱を少しでも落ち着ける手伝いをしていきたい。
- ・次回は、ゲーム感覚を入れてもっと楽しく学べるように工夫したい。
- ・災害イベントと構えて参加するのではなく、みんな楽しく学べるところが良いと思った。これからも取り組んでいきたい。

防府市では、子どもたちの声に賛同し、山口県下初の「子ども防災士養成講座」を12月に開始されたそうです。

これらの素晴らしい活動が、防府市を超えて県下の市町に、更には、県外にも広がっていくことを願っています。

(本郷)

